

2022年1月24日 9:30~11:30

市役所3階 305会議室

1 開 会

2 議 事

(1) 提言書のまとめ

(伏木座長)

・今日は大事なミッションがございます。今、原案が出されている提言書ですけれども、これを公開できるように修正すべき点は修正し、加筆する部分があれば加筆するという事です。

・まず、私も原案を拝見して、中身はとても充実していて議論が反映されていて、事務局のご努力ご苦労あったらと思う。私はいくつかの自治体の同様の会議を担当してまして、須坂の進め方と内容が一番光っているというか、大事な理念がきちんと議論されているということで嬉しく思っています。

・ただし、これから提言をしていくので、読まれないといけないし、理解してもらわなきゃいけない。そういう観点からしたときに、原案の検討の経過から始まるこの構成だと、ちょっと読むのも大変かなと。結論を先に出して、なぜそういう提言になったのかを後に持ってくる。そういう構成面のことも、後ほど皆さんからご意見をいただきます。

(本多委員)

・ソサエティ5.0やIoT、デジタルトランスフォーメーションとか、横文字が非常に多いので、注釈が必要だと思いました。

(坂口委員)

・第1回会議の主な内容の中の保護者の理解の重要性というところなんですけど、もうちょっと言葉を足して、市民が子育てに取り組む保護者の置かれてる状況を理解するという感じで。

(本多委員)

・非認知能力は今回のテーマの中で大きなキーワードになるので、ここのところはしっかりと説明が必要かなというふうに思います。

(宮崎委員)

・2回目の会議の主な内容のところで、郷土学習という表現と、地域教育という表現がある。どちらか揃えた方がいいのか、伏木先生にお伺いしたい。

(伏木座長)

・揃えたとしたら、地域教育とかふるさと学習とか、そういう言葉の方が一般の方にわかりやすいと思います。

(新野委員)

・6ページの4行目、伝統的な「心情・意欲・態度からの意識改革」の表現は、ちょっと理解が難しいのではないかな。

(伏木座長)

・「伝統的なしつけ重視の心情・意欲・態度」からの意識改革だとまだわかりやすい。
・6ページで、多様性を求めた各学校間のICTの活用というところ。多様性を求めることと、ICTの活用は、別の次元の話なので、区別して分けて別項目で書いていただいた方がいい。

(垂澤委員)

・7ページ(4)の冒頭のところで、PTA活動はなぜ必要なのかっていうことを書いておかないと、コロナで何でもかんでも中止になってしまう。

(宮川委員)

・やはり保護者と教職員でPTAですので、親だけとか、教職員だけっていう部分ではないっていうことが一番重要。どうしても学校側から見て、保護者の組織としての受けとめ方。ここについての意識改革を教職員の方々がもし持っているのであれば、そこをお互いに改めていなくなっちゃいけないなっていうふうに思っています。
・先生たちが子供たちに学びを教えるところに集中していただきたいということは、私達保護者も願うところである。

(垂澤委員)

・そもそも提案は、誰に向けた提案か。

(伏木座長)

・それぞれの提案について、保護者向け、教職員向け、教育委員会への提案など、誰に対する提案か明記した方が分かりやすい。

(伏木座長)

・9ページの幼児期の学びのスタイルを継承するとあるが、申し少し具体的に提案に書いた方がいい。
・10ページ。個別最適な学びと、自律的な学ばは並列するのはちょっと避けたい。個別最適な学びと協同的な学びはセットになるんですけど、自律的な学ばはちょっと次元が違う。ここは個別最適な学びを進める取り組みだけにしてもらった方がいいかなと思います。

(月岡指導員)

・PTAの役割は3つ目あると思います。1つは子供のための活動をする組織。2つ目は、親同

士が繋がり合う組織。3つ目は、親が親として学びを深める組織。そのために PTA があると私は思っています。

- ・PTA のあり方について、こういうやり方もあるんじゃないかとか、今までのやり方だと負担感ばかり。なければ困るけど、そういう組織になってしまっている。

- ・今後の PTA のあり方について、ここに提案がいくつかあります。プラットフォーム作りだとか、人材活用、親同士の学びのあり方だとか、そんなところを提言していただきたい。

(宮崎委員)

14 ページ。異年齢混合で何をするのか明記した方がよい。

(伏木座長)

異年齢混合で行う教育活動のメリットという表現でいかがでしょうか。

(本多委員)

- ・朝日新聞のデジタル版の中で、上野千鶴子さんが「未来を作る力は多様性の中にある」と書いていました。この提案の趣旨は、異質なものと多様な価値観と出会う環境を保障するということだと思うんです。だからそういう意味のスローガンのことを書いておいた方がよいと思います。

(伏木座長)

- ・冒頭でも説明しましたが、提言書は最初にダイジェスト版として、こういうことを提言するというものを持ち込んだ方がよいと思います。

- ・幼児期からはじまる非認知能力を育む取り組み、個別最適な学び、特別支援の視点から1人1人の可能性を伸ばす取り組み、学校運営教育を取り巻く地域活動に関する取り組み、この4つを見出しにして、提言をまず書き込んでおく。そのときに、学校の教職員に対して、あるいは地域の人に対して、あるいは行政に対して、誰に対する提言かわかるように、ダイジェスト版を1枚作る。議事録は、ダイジェスト版の最後に資料編としてつけると、そんな枠組みで再編するとよいと思います。

- ・再編したものを事務局から委員の皆さんへメールで送っていただき、最後、確認いただくということはいかがでしょうか。

(委員)

- ・了承

3 その他

なし

4 あいさつ

(小林教育長)

- ・皆様に本当にいろんな細かいところで、それぞれのお立場を超えて議論をしていただいたことに感謝を申し上げます。

・昨年から全部で11回にわたる議論を重ねてきて、中には2年間お願いした委員もいらっしゃいます。本当に長い間、私達に提言を続けてくださったことに心から感謝を申し上げて、来年度、できた提言書をもとにこれから須坂でどういうふうにして具体的に進めていくかを考える審議会を立ち上げてまいりたいと思います。

5 閉 会